

令和7年度 学校評価書(前期)

《学校教育目標》

心打つ振舞いで、自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成

〈今年度の重点目標〉

「共感」「規律」を基にした「自己決定力」

～「学美」の往還～



4月7日(月)入学式

新入生30名を迎えて、開校11年目の北陽中がスタート

6月11日(水)大北総体激励会

燃やせ「北陽魂」！全校生徒で校歌熱唱し気合注入、いざ戦いのとき！



令和7年9月8日(月)
大館市立北陽中学校

令和7年度 学校評価一覧

(前期)

令和7年度 学校評価一覧									
ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の展開									
教育目標：心打つ振舞いで、自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成 重点目標：「共感」「規律」を基にした「自己決定力」～「学美」の往還～									
学校評価項目	自己評価A	学校関係者評価	評価指標	担当	実践課題	主な取組	評価根拠(アンケート等)	自己評価B	学年
学校評価項目	自己評価A	学校関係者評価	評価指標	担当	実践課題	主な取組	評価根拠(アンケート等)	自己評価B	学年
I 運営・展開	「ゆるぎない学校」の創造へ、世代を超えて学業の本質を突き詰める職員集団「チーム北陽」が機能している。保護者・地域とのつながりを強化し、地域で繰る振舞いの実践が行われている。	良好	良好	1 世代交代を見据えた組織の活性化	(1) チーム北陽の在り方	教職員の指導力・専門性を高めるための人材育成を兼ね備えた組織づくり	職員	3	
				2 地域の教育力の活用	(2) 校務部及び学年部の効果的な連携	指導部長会、主任会、学級(組)会による共通理解・共通実践の強化	職員		
				3 適切な予算運用	(3) 情報発信と地域連携の推進	学校HPや学校報、FMラジオなどでの情報発信の推進 「往還」を意識した地域活動推進による地域とのつながりの強化	職員		
II 企画・調整	生徒の振舞いを鍛えて「心」を動かす創造的な企画がされ、実践している。	おおむね良好	良好	4 校務アジャストメント	(4) 計画的な予算執行と適正な会計管理	目標実現に向けた教育活動展開のための予算配分の工夫と計画的な執行	職員	4	
				5 経営課題のクローズアップ	(5) 教育活動を支える見通しある提案、学校帳簿管理	先を見通した早めの全体計画・予定の提示、学校諸帳簿の正確な作成と適切な管理	職員		
III 主体的学習態度・基本的学習習慣	生徒が主体的に授業に臨み、基本的学習習慣と確かな学力を身付け、「学びかた」の指導に努めている。	おおむね良好	良好	6 「学びかた」の指導	(6) 組織を活用した学校行事の企画	校務部や学年部と連携し、心を育てる行事の企画	職員	4	
				7 確かな学力	(7) 「主体的・対話的で深い学び」の具体的実践	目指す姿を具体的に想定した授業や活動の構想と実践	職員		
IV 自主的・自律的な生活・高い生活習慣	生徒一人一人の心身の状態に目を向けながら、安全・安心・健康な日常を実現する「暮らしかた」の指導に努めている。	おおむね良好	良好	8 規律ある学校生活	(8) 全教育活動での「学美」の充実	教科や学年の枠を超えた研修、学美ツアー	職員	3	
				9 心身の健康の保持増進	(9) 主体的学習態度の育成	学ぶ意義や目的を生徒に自覚させる手立ての工夫	職員		
V 思いやりの心、たくましい心	居心地のよい集団を実現する「暮いかた」の指導、仲間と心をつなぐ「挑みかた」の指導に努めている。	良好	良好	10 教育相談の充実	(10) 授業の充実	共感と規律をベースにした授業づくり	職員	3	
				11 より良い集団生活を目標とする「学級・学年活動」	(11) 学びとキャリア発達	生徒の「?」や「!」を引き出す仕(四)掛け	職員		
				12 自主的・自立的諸活動	(12) 安心・安全で、規律ある集団の「暮らしかた」の指導	生徒による「暮らしかた」の見直しと充実	職員	3	
					(13) 健全な生活習慣の育成	危機回避能力育成と事故防止対策	職員		
					(14) 日常的・積極的な教育相談と生徒理解	多面的な生徒理解と組織的且つ効果的な教育相談の研修と体制づくり	職員	4	
					(15) 個のよさが発揮される学級・学年づくり	共感的協働性を発揮できる創意的な学級活動の実践	職員	4	
					(16) 創意に満ちた生徒会活動の充実	学校経営の一翼を担う、創意に満ちた生徒会活動	職員	4	
					(17) 仲間と心をつなぐ、目標に向かう「挑みかた」の指導	三大行事に対する、生徒の目的の色を変える仕(四)掛け	職員	4	

人間的基礎力・大館市民基礎力・大館市民実践力の育成

V 評価

ア 学校運営の状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

I 運営・展開

学校の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校関係者評価委員のコメント
「ゆるぎない学校」の創造へ、世代を超えて学美の本質を突き詰める職員集団「チーム北陽」が機能している。保護者・地域とのつながりを強化し、地域で鍛える振舞いの実践が行われている。	良好	良好	職員構成のバランス(年齢、経験年数、性別など)のよさを生かしながら組織を活性化させる手立てが構築されている。チームとしてのまとまりが感じられる。生徒も、子どもハローワーク等で積極的に地域で活躍しており、大変頼もしい。
自己評価の概要と学校の改善策	前期		
	年度		
	<p>(1)(2)について→保護者評価は横ばい。教職員評価はやや減。 今年度も初任者研修(1名)、経験年数による研修(指導力習得研修(2年目教員)、5年目研修、指導力向上研修(8年目教員))や職務別研修(新任教務主任研修、新任学年主任研修、新任道徳推進教師研修)が多くある年となった。校内外での様々な研修を受けた成果を、全体に広めるチャンス之年と言える。OJTの考えを生かし、学んできた最新の教育実践や理論などを、校内研修の場で生かし、北陽中の教員全体の力量を高められるようにしたい。</p> <p>ランチミーティングは、若手教員にとって助けになっていることがアンケートの結果から読み取れる。今年度は、学年主任会の頻度を上げて(月1回から2回へ)、より共通理解を深めた上で教育活動を推進できるように工夫している。普段からの声掛けも重視し、「チーム北陽」の機運を醸成したい。</p> <p>(3)について→生徒評価は横ばい。保護者評価・教職員評価は上昇。 今年度は10周年の年ということもあり、昨年度に引き続き、「運動会における人文字の空撮」についてお知らせしたところ、多くの保護者や地域の皆様が集まり、大きな盛り上がりを見せた。昨年度から取り組んでいる「釈迦内地区防災学習会」や、北陽中生が従来から積極的に取り組んできた「子どもハローワーク」の活動も、夏休み中を中心に多くの生徒が参加し、地域で北陽中生が積極的に活動する機会が増えた。 学校報や学校ホームページ、学校ブログによってタイムリーに活動の様子を発信し、多くの方に学校の様子を伝えることができています。市内のマスコミ等とも連携して、北陽中生の活躍をより多くの皆様に発信する努力を続けたい。</p> <p>(4)について→教職員評価は横ばい 「生徒と職員が円滑に活動に取り組める環境づくり」という観点において、事務職員からの先を見通した提案や職員への周知は大きな助けとなっている。情報交換を密にして、適正な環境づくりに努めたい。</p>		
	<p>(1)(2)について:</p> <p>(3)について:</p> <p>(4)について:</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 組織の活性化	(1) チーム北陽の在り方	教職員の指導力・専門性を高めるための人材育成を兼ね備えた組織づくり	3	
	(2) 校務部及び学年部の効果的な連携	指導部長会、主任会、学鍛(担)会による共通理解・共通実践の強化		
2 地域の教育力の活用	(3) 情報発信と地域活動の推進	学校HPや学校報、FMラジオなどでの情報発信の推進「往還」を意識した地域活動推進による地域とのつながりの強化	4	
3 適切な予算運用	(4) 計画的な予算執行と適正な会計管理	目標実現に向けた教育活動展開のための予算配分の工夫と計画的な執行	4	

[1に関連するデータ]

【アンケート種別】 ○生徒 □保護者 ■教職員
 【5段階評価】 5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分

(1) チーム北陽の在り方

- 本校教育目標「心打つ振舞いで自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成」の達成度は現在のところどれくらいと感じているか。
 教職員の指導力・専門性を高めるための人材育成を兼ね備えた組織づくりが行われているか。

R7前期	R6前期	増減
3.9	3.8	+ 0.1
4.0	4.0	± 0.0

(2) 校務部及び学年部の効果的な連携

- 指導部長会、主任会、学鍛(担)会が共通理解・共通実践の強化につながっているか。

R7前期	R6前期	増減
4.1	4.3	- 0.2

[2に関連するデータ]

(3) 諸通信の発行と地域活動の推進

- 学校報の地域回覧・掲示や学校HPの更新、地域行事への参加・子どもハローワークの取組・防災活動の推進によって、地域とのつながりが深まっていると思うか。
 学校報地域回覧・掲示や学校HPの更新、地域活動の推進によって地域とのつながりが強化されていると感じるか。
 学校報や学校HPによる情報発信と地域活動推進によって地域とのつながりが強化されているか。

R7前期	R6前期	増減
4.1	4.2	- 0.1
4.1	3.8	+ 0.3
4.4	3.9	+ 0.5

[3に関連するデータ]

(4) 計画的な予算執行と適正な会計管理

- 予算配分・予算獲得と計画的な執行により、教育活動の成果が高まっているか。

R7前期	R6前期	増減
4.3	4.2	+ 0.1

ア 学校運営の状況

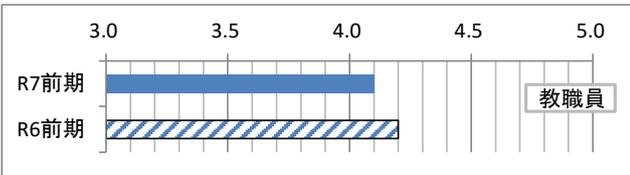
学校の状況		自己評価A	学校運営協議会評価	学校関係者評価委員のコメント
生徒の振舞いを鍛えて「心」を動かす創造的な企画がされ、実態に応じた調整が図られている。	前期	おおむね良好	良好	これまでも継続して行われてきた「学美ツアー」が今まで以上に機能して、生徒自身から「自分の役に立った」とコメントが出ているのが素晴らしい。自己決定力を育成する一助となっている。先生方も、生徒の自立につながるのか考えながら指導に当たっているのが分かり、ありがたい。「自己決定」というキーワードが、生徒・教職員相互に浸透している。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	(5)について: 指導部長会や主任会、学級会などのランチミーティングや週案の早めの提案などを通して、多くの先生方が日々の活動や行事に対して見通しをもつことができていた。また、教科指導部長会も行い、成績処理について共通理解を図ることができた。後期も、先を見通した提案を行っていく。			
	(6)について: 今年の運動会は縦割りの色別で実施するため、学年合同体育や5時間目を70分設定にするなど、弾力的に運用したことで、生徒が見通しをもちながら十分に練習できたことが、達成感や参観した保護者の評価が高くなったことにつながっている。先輩の姿を手本にしたり、全校で目指すゴールの姿に向かって活動したりしていくことが、生徒の自己有用感につながっている。後期も、開校10周年の行事を生徒・教職員・保護者・地域で創り上げていく。			
	(7)について: 4月に全員参加の学美ツアーを行い、全職員で北陽中の目指す姿を共通理解して取り組んでいけるようにした。各教科で研究課題を達成するために日々の授業実践をしており、北陽スタンダードの定着がなされていると感じる。各研修も生かして授業改善に努めていきたい。			
	(8)について: 様々な場面で先輩が後輩に手本を見せる形やサポートする形での学美ツアーを行い、後輩のスムーズな活動につながった。また、後輩が先輩の授業の様子を見る学美ツアーを行ったことで、両者の意識改善につながった。今後も生徒と教師から挙がった声を踏まえて学美ツアーが設定されるようにしていきたい。指定訪問や視察の機会を逃さず、全員で研究主題を達成しようとする姿勢をつくりあげていく。			
	(5)について:			
(6)について:				
(7)について:				
(8)について:				

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 校務アジャストメント	(5)教育活動を支える見通しある提案、学校帳簿管理	先を見通した早めの全体計画と予定の提示、学校諸帳簿の正確な作成と適切な管理	4	
	(6)組織を活用した学校行事の企画	校務部や学年部と連携し、心を育てる行事の企画		
5 経営課題のクローズアップ	(7)「主体的・対話的で深い学び」の具体的実践	目指す姿を具体的に想定した授業や活動の構想と実践	3	
	(8)全教育活動での「学美」の充実	教科や学年の枠を超えた研修、学美ツアー		

○学校評価アンケートの数値から (○生徒 □保護者 ■教職員) ※5段階評価{5:大変よい~3:おおむねよい~1:不十分}

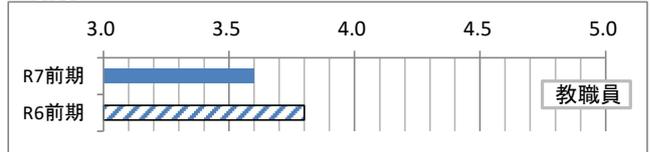
[4(5)に関連するデータ]

■教育活動を支える見通しある提案、学校諸帳簿作成・管理



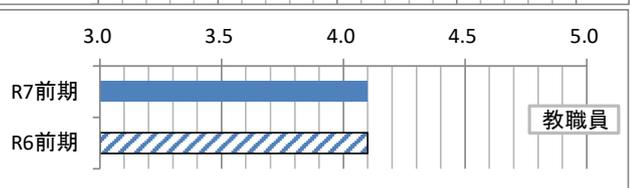
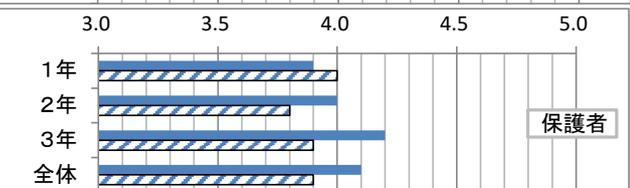
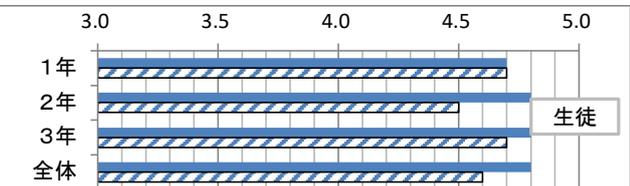
[5(7)に関連するデータ]

■教科の特質に応じた「見方・考え方」をはたらかせた授業実践



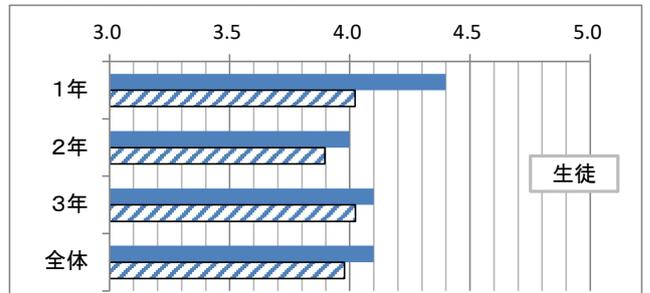
[4(6)に関連するデータ] 上段:R7前期 下段:R6

○□■心を動かす学校行事の企画

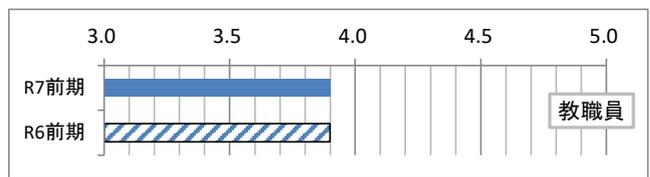


[5(8)に関連するデータ]

○学校行事や授業等で学美ツアーが行われ、自分の学校生活や学習に役立っているか。



■教科や学年の枠を超えた研修、学美ツアーが計画され、自分事として捉えて参加することができるか。



イ 生徒の状況

Ⅲ 主体的学習態度・基本的学習習慣

学校の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校関係者評価委員のコメント
生徒が主体的に授業に臨み、基本的学習習慣と確かな学力を身に付け、「学美」を実現する「学びかた」の指導に努めている。	前期 おおむね 良好	おおむね 良好	生徒の主体性を大切に授業づくりについて、先生方が工夫していることが見てとれる。ノートづくりなど、生徒が学びを深められるように丁寧に指導しており、ありがたい。数値的な学力の結果から厳しめの評価になっていると思うが、引き続き個に応じた支援をお願いしたい。
自己評価の概要と学校の改善策	(9)について:「家庭学習ノートを見合う会」や、そこで選出されたノートの「家庭学習の手引き」への掲載、またテスト計画を立てる際に、2・3年生が1年生に助言をする「学美ツアー」や定期テスト前の学習計画を立てる時間など、様々な形でPUDの時間を設定し、生徒自身が学び方を考える機会を意図的に設定した。今後は、PUDの時間の活用を継続するとともに、確かな学力の定着のためのPUTの時間も設定していく。		
	(10)について:教員同士の「学美ツアー」を4月に実施し、共通意識をもち授業実践をしてきた。今後も、生徒の疑問や気付きを引き出す仕掛けを意識した授業作りに努めていく。生徒の「学美ツアー」としては、1年生が2・3年生の授業を参観し、自分たちの学び方を見直す機会を設けた。2学期は、2年生が他学年の授業を参観する「学美ツアー」を企画し、新体制作りに向けて生徒の意識を高めていく。		
	(11)について:今年度から「振り返りの視点」を全ての教室に掲示し、全教科でそれを活用してきた。今後も引き続き、「他教科や日常とのつながり・活用」など学びの往還を意識した視点を与えることで、生徒のキャリア発達を促していきたい。		
	(9)について:		
	(10)について:		
(11)について:			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
6 「学びかた」の指導	(9) 主体的学習態度の育成	学ぶ意義や目的を生徒に自覚させる手立ての工夫	4	
7 確かな学力	(10) 授業の充実	共感と規律をベースにした授業づくり 生徒の「？」や「！」を引き出す仕(四)掛け	3	
	(11) 学びとキャリア発達	学習の定着を図るまとめとキャリア発達につなげる振り返り		

(○生徒 □保護者 ■教職員) ※5段階評価{5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分}

[6に関連するデータ]

(9) 主体的学習態度の育成

○家庭学習へのアドバイスやPUNの方法を、先生方は工夫してくれていると感じますか。	4.4	4.4	+0
□一人一人に応じた家庭学習の仕方を助言したり、放課後のドリル学習の内容や方法を工夫したりするなど、お子さんは主体的に学習に取り組んでいると感じますか。	3.8	3.6	+0.2
■学ぶ意義や必要性を明確にし、生徒自らが学びに向かう仕掛けづくりがなされているか。	4	3.7	+0.3

R7前期	R6前期	増減
4.4	4.4	+0
3.8	3.6	+0.2
4	3.7	+0.3

[7に関連するデータ]

(10) 授業の充実 共感と規律をベースにした授業づくり

■共感と規律をベースにした授業づくりができたか。	3.9	3.9	+0
--------------------------	-----	-----	----

R7前期	R6前期	増減
3.9	3.9	+0

(10) 授業の充実 生徒の「？」疑問や「！」気付きを引き出す仕掛け

○学校行事や授業などで学美ツアー(例:3年生が1年生の学活等に参加して、生徒総会の取組を説明するなど)が行われ、自分の学校生活や学習に役立っていますか。	4.2	4.1	+0.1
□授業では、お子さんの「疑問」や「気付き」を引き出す工夫がされ、力が付いていると感じますか。	3.8	3.6	+0.2
■生徒の「？」疑問や「！」驚き、気付きを引き出す仕掛けを工夫することができたか。	3.7	3.8	-0.1

R7前期	R6前期	増減
4.2	4.1	+0.1
3.8	3.6	+0.2
3.7	3.8	-0.1

(11) 学びとキャリア発達 学習の定着を図るまとめとキャリア発達につなげる振り返り

■学びの定着を図るまとめとキャリア発達を促す振り返りがなされているか。	3.7	3.6	+0.1
-------------------------------------	-----	-----	------

R7前期	R6前期	増減
3.7	3.6	+0.1



「学美ツアー」初めての定期テストに向けて計画表の立て方を2・3年生がアドバイス



「学美ツアー」2・3年生の授業1年生が参観「共感」「規律」の目指す姿を確認

振り返りの視点(全教室に掲示)

振り返り「～が分かった」からの脱却!

なまるところ

- ・自分の変容
- ・他者の意見を通して
- ・次時につなげる疑問
- ・他教科や日常とのつながり・活用

などを意識して振り返りてみよう。

イ 生徒の状況

IV 自主的・自律的な生活、望ましい生活習慣

学校の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校関係者評価委員のコメント
生徒一人一人の心身の状態に目を向けながら、安全・安心、健全な日常生活を実現する「暮らしかた」の指導に努めている。	前期 おおむね 良好	良好	非常に難しい問題である「メディアコントロール」について、学区を巻き込んだ取組、生徒自身から声がかかる取組、地域の大人や保護者を巻き込んだ取組など、様々な工夫がされている。生徒の自律的な姿勢を意図的に育てる取組が素晴らしい。危機対応も迅速で、安心して学校生活を送ることができている。
自己評価の概要と学校の改善策			(12)について:生活向上委員会を中心に、朝の挨拶運動を行っている。また月初めには、地域の方にも挨拶運動にご協力いただいている。(下記①参照)生徒の自己管理能力を高めるために、安全な登下校や身だしなみ、時間を守ること等ついて、一方的な指導だけではなく、生徒自らが考え、自己決定し行動する場を意図的に設定してきた。また、避難訓練や防災学習会などを通して防災への意識付けを図ってきた。1学期は自転車の転倒による怪我が多く見られた。引き続き、交通ルールを遵守した自転車の乗り方やヘルメット着用、熊対策など毎日の登下校についても、生徒が安心・安全に生活できるよう指導を継続していきたい。
			(13)について:保健委員が熱中症対策を呼び掛けたり、熱中症対策ポスターを掲示したりするなど(下記②参照)、教師がサポート側に回って働きかけてきた。今年度もメディアに関する実態調査を行った。その結果を踏まえ、1学期末に「北陽中メディアシンポジウム」を開催した。(下記③参照)シンポジウムでは、生徒が主体的に考え実践していくとする意識付けを図るために、パネリストからのお話を聞き、情報通信機器を使うメリットやデメリットについて全校で意見交流する活動を行った。今後は、夏休み中の生活や休み明けの学校生活につなげていくために、保護者への啓発活動や、生徒が自らの生活習慣を見直すことができるよう粘り強く指導していきたい。
			(14)について:今年度も5月に教育相談を実施し、生徒理解に努めた。(下記④参照)未然防止や早期発見に向けて、日頃から小さなサインを見逃さないことや些細なことでも全職員で共有できるよう組織的に対応していきたい。また校外問わず、チーム学校としてスクールカウンセラー等の関係機関と連携しながら、生徒の居場所づくりや絆づくりを意識し、一人たりとも置き去りにしない体制づくりを目指していきたい。
			(12)について: (13)について (14)について

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 規律ある学校生活	(12) 安全・安心で、規律ある集団の「暮らしかた」の指導	生徒による「暮らしかた」の見直しと充実 危機回避能力育成と事故防止対策	3	
9 心身の健康の保持増進	(13) 健全な生活習慣の育成	メディアコントロールと安定した生活習慣の確立	3	
10 教育相談の充実	(14) 日常的・積極的な教育相談と生徒理解	多面的な生徒理解と組織的かつ効果的な教育相談の研修と体制づくり	4	

(○生徒 □保護者 ■教職員)

※5段階評価 [5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分]

【8に関連するデータ】
(12)安全・安心で、規律ある集団の「暮らしかた」の指導
 北陽中生自身が「暮らしかた」(挨拶や身だしなみ、時間を意識した行動など)を見直し、規律ある学校生活の充実が図られていますか。
 災害や事故から身を守り、自分の命を自分で守る力が身に付いていますか。(クマ対策を含む)
 生徒が自ら「暮らしかた」(挨拶・身だしなみ・時間を意識した行動、メディアコントロールなど)を見直し、職員が適切に指導したりすることで、規律ある学校生活ができていると感じますか。
■ 生徒によって「暮らしかた」が見直され、充実が図られているか。
■ 安心・安全な生活のために、生徒の危機回避能力を育成し、事故防止対策が講じられているか。

R7前期	R6前期	増減
4.2	4.1	+ 0.1
4.5	4.6	- 0.1
3.6	3.7	- 0.1
4.1	3.7	+ 0.4
4.0	3.9	+ 0.1

【9に関連するデータ】
(13)健全な生活習慣の育成
 健全で望ましい生活習慣を身に付けるために、健康管理やメディアコントロールに取り組んでいますか。
 害獣(クマ)対策・熱中症等予防対策・感染症等予防対策が講じられ、安心・安全な学校生活を送る体制が整えられていると感じますか。
■ 健全な生活習慣の育成のために安定した生活習慣の確立と、感染症予防対策が取られているか。

R7前期	R6前期	増減
4.0	4.2	- 0.2
4.1	4.0	+ 0.1
4.1	3.8	+ 0.3

【10に関連するデータ】
(14)日常的・積極的な教育相談と生徒理解
 教育相談やカウンセリングなどで、先生は親身になって対応してくれますか。
■ 多面的な生徒理解と、組織的かつ効果的な教育相談の研修と体制づくりがなされているか。

R7前期	R6前期	増減
4.7	4.6	+ 0.1
4.1	4.1	± 0.0

①あいさつ運動(上) ②熱中症対策の喚起(下) ③北陽中メディアシンポジウム(上) ④教育相談アンケート(下)



イ 生徒の状況

V 思いやりの心、たくましい心

学校の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校関係者評価委員のコメント
居心地のよい集団を実現する「集いかた」の指導、仲間と心をつにし、目標に立ち向かう「挑みかた」の指導に努めている。	良好	良好	行事や生徒会活動等に対して、生徒の自己評価が高い。これは、生徒自身のがんばり、学校の意図的な取組(仕掛け)が功を奏している。保護者も、子どもの様子から学校の取組にたいして信頼を寄せていることが分かる。引き続き、地域に勢いをもたらす存在として頑張ってもらいたい。
自己評価の概要と学校の改善策	前期	年度	<p>(15)について: 学級・学年づくりにおいて、中央委員が中心となり学級の課題の解決に向かって、学級担任と相談しながら取り組むことができた。1学期を振り返る会では、各学年の実態に応じて、夏休みに向けて話し合い活動やレクリエーションで個のよさを発揮したり、互いに認め合ったりすることができる場面を設定している。今後、各学年の取組の成果や課題を持ち寄り、学年の縦のつながりをもたせながら、学級や学年が更によりよくなるようにサポートしていく。</p> <p>(16)について: 委員会編成を機にこれまでの活動を更によりよくしようと創意工夫を凝らした活動が増えている。また、それを教師がサポートする形で行うことができていた。更に生徒が主体的で責任ある活動を促すために、活動の目的や意義、各学年の立場・責任を年度初めや生徒会役員が切り替わる機会で見直し確認していききたい。また、生徒が安心・安全で充実感のある活動をするために、教師側が見直しをもって進めていきたい。</p> <p>(17)について: 今年度から運動会は、縦割り班での活動に変わった。昨年度末から運動会当日までの見通しを上級生にもたせて活動できたことが心打つ振舞いにつながり、大きな達成感を感じることができたものだと考える。各学年の立場を考え、行動することにより、例年以上に学校全体のつながりが深まったと感じる。2学期の合唱コンクールや北陽中祭に向けて、夏休み前から見直しをもって活動に励んでいる。生徒や地域の方々の満足度が高まるように、教員同士の共通理解を確実に進めていきたい。</p> <p>(15)について:</p> <p>(16)について:</p> <p>(17)について:</p>

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
11 より良い集団生活を目指す学級・学年活動	(15) 個のよさが発揮される学級・学年づくり	共感的協働性を発揮できる創意ある学級活動の実践	4	
12 集団力を高める自主的・自立的諸活動	(16) 創意に満ちた生徒会活動の充実	学校経営の一翼を担う、創意に満ちた生徒会活動	4	
	(17) 仲間と心をつにし、目標に向かう「挑みかた」の指導	三大大行事に対する、生徒の目の色を変える仕(四)掛け		

(○生徒 □保護者 ■教職員)

[11]に関連するデータ ※5段階評価[5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分]

(15) 個のよさが発揮される学級・学年づくり

- 個のよさが発揮され、仲間と協働して取り組めるような学級活動が行われていましたか。
- 共感的協働性を発揮できる創意ある学級活動が実践されていたか。

R7前期	R6前期	増減
4.6	4.4	+0.2
3.9	3.7	+0.2

[12]に関連するデータ

(16) 創意に満ちた生徒会活動の充実

- 集団力を高めるような、創意ある生徒会活動が行われていましたか。
- 生徒会活動は、集団力を高めるような創意ある活動になっていますか。
- 学校経営の一翼を担う、創意に満ちた生徒会活動が行われているか。

R7前期	R6前期	増減
4.5	4.4	+0.1
3.9	3.8	+0.1
3.9	3.5	+0.4

(17) 仲間と心をつにし、目標に向かう「挑みかた」の指導

- 運動会や部活動などでは、仲間と心をつにして目標に向かって取り組み、感動や達成感を味わえましたか。
- 学校行事では、生徒の目の色を変える仕掛けがなされ、心を育てる工夫がされていますか。
- 三大大行事に対する、生徒の目の色を変える仕掛けがなされているか。

R7前期	R6前期	増減
4.8	4.6	+0.2
4.1	3.9	+0.2
4.3	4	+0.3



10年目の人文”HOKUYO”



生徒総会での全校討議



北陽魂を發揮することを誓い合った激励会



吹奏楽部と学芸部による応援ツアー

全 体 コ メ ン ト

令和 7年 9月 8日 (月)
大館市立北陽中学校 2階会議室

口頭による助言

- ・不登校（傾向）が解消された生徒がいるのは心強い。引き続き、生徒に寄り添った対応をお願いします。
- ・「困りごとがあったときに相談する先生がいる」とヒヤリングで聞くことができ、安心して。
- ・FMラジオおおだての番組を毎週聴いている。全国的にも珍しい取組で、面白いと思う。生徒が自分の考えを積極的に出せるよう指導をお願いします。
- ・（農業に例えると）北陽中生は、少しずつ芽を出して、葉っぱを茂らせ、大きくなっているのかな、と思った。先生方には、倒れないように支えたり、時には除草剤をまいたりなど、生徒に寄り添ったご指導を引き続きお願いしたい。
- ・生徒同士の間人間関係がいいなと思った。また、授業をしている先生方の表情もよかった。日々の触れ合いや信頼関係づくりが効いているのだろうと思った。
- ・先生方がきちんと生徒に向き合ってくれていることに、感謝しかない。

北陽中学校 学校関係者評価委員

山本 多鶴子 小坂 正昭 佐々木 勝利 木村 治
橘 範広 三澤 亜矢子 太田 正